



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月10日
東

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 俊也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 柏 正孝 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 2023年6月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	15,486	10.5	1,504	△26.8	1,594	△30.0	1,140	△28.5
2022年9月期第2四半期	14,010	7.3	2,055	35.4	2,279	33.9	1,594	14.9

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 986百万円(△33.5%) 2022年9月期第2四半期 1,483百万円(24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	49.55	49.26
2022年9月期第2四半期	67.38	66.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	40,813	28,713	70.1
2022年9月期	41,592	29,398	70.4

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 28,619百万円 2022年9月期 29,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2023年9月期	—	22.00			
2023年9月期(予想)			—	32.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	11.4	2,600	11.5	2,900	4.4	2,000	4.2	87.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期2Q	26,085,000株	2022年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	3,353,458株	2022年9月期	2,673,622株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期2Q	23,026,618株	2022年9月期2Q	23,666,657株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期は中期経営計画“TY2024”(2024年9月期経営目標:売上高300億円、営業利益35億円、ROE8.0%)の2年目となります。期初計画及び中期経営計画の達成に向け、成長戦略を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は154億8千6百万円(前年同四半期比10.5%増)となりました。この内、国内売上高は、第1四半期連結会計期間における仕入先の出荷遅延による影響が改善しつつあり、144億6千5百万円(前年同四半期比8.1%増)と増加しました。海外売上高においても、中国ではコロナ感染拡大の影響が残るものの遅れていた出荷が進み、10億2千1百万円(前年同四半期比62.3%増)と増加しました。利益面においては、主に本格的な営業活動の再開と成長戦略のための人材投資などによる販売費及び一般管理費の増加と、為替の急峻な変動の影響による売上総利益率の低下により、営業利益15億4百万円(前年同四半期比26.8%減)、経常利益15億9千4百万円(前年同四半期比30.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益11億4千万円(前年同四半期比28.5%減)となりました。

受注については、カーボンニュートラル分野や自動運転開発分野などで受注を伸ばした結果、受注高は157億5百万円(前年同四半期比4.0%増)、受注残高が157億6千6百万円(前年同四半期比22.2%増)となりました。

また、当社グループは経営管理区分及び社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より事業セグメント「ライフサイエンス/マテリアルズ」を「ライフサイエンス」に名称変更し、マテリアルサイエンス(材料評価)分野の製品ラインを事業活動にシナジーが見込まれる「物性/エネルギー」に移管しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しており、以下の前年同四半期比については、変更後のセグメント区分方法に組み替えた数値で比較しております。

事業セグメントごとの業績は、次のとおりです。

(情報通信/情報セキュリティ)

情報通信/情報セキュリティ事業におきましては、通信事業者における5G商用サービス向けの試験や、企業のDX化推進に伴う通信品質試験の計測ソリューション、及びサービスプロバイダ向け情報セキュリティ製品の販売が前期並みに推移したため、売上高は微増となりました。一方、為替変動の影響による売上総利益率の低下によりセグメント利益が減少しました。この結果、売上高は38億8千7百万円(前年同四半期比3.1%増)、セグメント利益は3億2千6百万円(前年同四半期比41.3%減)となりました。

(機械制御/振動騒音)

機械制御/振動騒音事業におきましては、振動騒音分野における企業の研究開発投資に関する販売が前期並みに推移したことに加え、自動運転開発向け計測ソリューションの販売も堅調に推移したため、売上高は微増となりました。一方、為替変動の影響による売上総利益率の低下によりセグメント利益が減少しました。この結果、売上高は26億1千1百万円(前年同四半期比2.8%増)、セグメント利益は3億5千1百万円(前年同四半期比36.6%減)となりました。

(物性/エネルギー)

物性/エネルギー事業におきましては、カーボンニュートラル分野における企業の研究開発投資が引き続き活況な中、全固体電池や燃料電池向けの自社開発製品、EV向け急速充電評価装置の販売が順調に推移したことにより、売上高が増加し、これに伴いセグメント利益も増加しました。この結果、売上高は41億3千9百万円(前年同四半期比17.0%増)、セグメント利益は11億3千5百万円(前年同四半期比21.5%増)となりました。

(EMC/大型アンテナ)

EMC/大型アンテナ事業におきましては、国内で前期に受注した大型アンテナ地上局システムの納入を始め、積み上がっていた受注残の納入が進み、売上高が大幅に増加しました。これに伴いセグメント利益も増加しました。この結果、売上高は29億3千2百万円（前年同四半期比37.6%増）、セグメント利益は2億4千3百万円（前年同四半期比14.9%増）となりました。

(海洋/特機)

海洋/特機事業におきましては、海洋関連で前期に受注中止になった主要製品に代わる製品の立ち上げに時間を要し、また特機関連で前期大型納入案件に相当する案件が発生しなかったため、売上高が減少し、これに伴いセグメント利益も減少しました。この結果、売上高は7億3千5百万円（前年同四半期比23.9%減）、セグメント利益は7千3百万円（前年同四半期比66.3%減）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援事業におきましては、ゲーム開発分野やアプリケーションセキュリティ、車載ソフトウェア開発の分野が堅調に推移し、売上高が増加しました。一方、為替変動の影響による売上総利益率の低下によりセグメント利益が減少しました。この結果、売上高は8億3千3百万円（前年同四半期比8.7%増）、セグメント利益は1億5千5百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。

(ライフサイエンス)

ライフサイエンス事業におきましては、整形外科デジタルプランニングツールの販売が堅調に推移し、売上高が増加し、これに伴いセグメント利益が増加しました。この結果、売上高は3億4千5百万円（前年同四半期比16.5%増）、セグメント利益は5千8百万円（前年同四半期比81.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億7千9百万円減少し、408億1千3百万円となりました。主な増加要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加26億6千9百万円です。一方、主な減少要因は、現金及び預金の減少18億1千2百万円、投資有価証券の減少15億7千3百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ9千5百万円減少し、120億9千9百万円となりました。主な増加要因は、未払法人税等の増加3億8千8百万円、流動負債のその他の増加2億7千8百万円、支払手形及び買掛金の増加2億6千9百万円です。一方、主な減少要因は、契約負債の減少9億4千4百万円、賞与引当金の減少4千5百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億8千4百万円減少し、287億1千3百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加4億3千7百万円です。一方、主な減少要因は、自己株式の増加9億2千6百万円、繰延ヘッジ損益の減少1億1千5百万円です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ18億1千2百万円減少し、19億7千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益16億7千9百万円及び減価償却費3億8千3百万円によるものです。一方、資金の主な減少要因は、売上債権及び契約資産の増加額25億8千2百万円及び契約負債の減少額8億1百万円によるものです。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは14億6千8百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入17億3千4百万円及び有価証券の売却による収入10億1千万円によるものです。一方、資金の主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出6億3千7百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2億8千8百万円によるものです。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは15億1千1百万円の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な減少要因は、自己株式の取得による支出11億2百万円及び配当金の支払額7億2百万円によるものです。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは18億5百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月9日に公表いたしました予想から変更しております。詳細につきましては、本日付「通期連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および年間配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,787,571	1,974,675
受取手形、売掛金及び契約資産	4,774,545	7,444,137
有価証券	2,436,363	1,432,774
商品及び製品	3,116,224	3,357,087
その他	2,932,968	2,952,701
貸倒引当金	△500	△800
流動資産合計	17,047,173	17,160,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,752,491	5,796,492
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,100,904	△3,147,522
建物及び構築物(純額)	2,651,587	2,648,970
車両運搬具	59,711	63,706
減価償却累計額	△48,918	△49,726
車両運搬具(純額)	10,793	13,979
工具、器具及び備品	3,929,798	4,262,729
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,302,460	△3,412,474
工具、器具及び備品(純額)	627,338	850,255
土地	11,507,790	11,521,496
建設仮勘定	194,897	389,474
有形固定資産合計	14,992,407	15,424,175
無形固定資産		
のれん	93,370	284,592
ソフトウェア	539,146	498,745
ソフトウェア仮勘定	217,913	357,651
その他	97,740	85,156
無形固定資産合計	948,172	1,226,146
投資その他の資産		
投資有価証券	6,005,615	4,432,282
退職給付に係る資産	598,576	605,266
繰延税金資産	803,891	843,018
長期預金	700,000	700,000
その他	529,511	451,131
貸倒引当金	△32,435	△29,463
投資その他の資産合計	8,605,159	7,002,236
固定資産合計	24,545,739	23,652,559
資産合計	41,592,913	40,813,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,756	2,037,832
未払法人税等	153,902	542,035
契約負債	3,941,225	2,997,123
前受金	—	4,060,080
賞与引当金	832,027	786,869
役員賞与引当金	73,000	36,500
その他	575,212	853,771
流動負債合計	7,344,124	11,314,212
固定負債		
退職給付に係る負債	654,627	654,090
長期前受金	4,060,080	—
その他	135,696	130,844
固定負債合計	4,850,403	784,935
負債合計	12,194,528	12,099,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	23,664,469	24,102,080
自己株式	△3,044,970	△3,970,987
株主資本合計	29,380,999	28,892,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,177	△99,137
繰延ヘッジ損益	79,600	△35,532
為替換算調整勘定	△121,509	△115,159
退職給付に係る調整累計額	△46,714	△23,357
その他の包括利益累計額合計	△118,800	△273,186
新株予約権	136,186	94,580
純資産合計	29,398,384	28,713,986
負債純資産合計	41,592,913	40,813,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	14,010,646	15,486,664
売上原価	7,622,690	9,053,036
売上総利益	6,387,956	6,433,628
販売費及び一般管理費	4,332,617	4,928,844
営業利益	2,055,338	1,504,784
営業外収益		
受取利息	48,900	52,808
受取配当金	23,623	15,901
為替差益	122,470	—
和解金	—	118,541
その他	37,078	44,844
営業外収益合計	232,072	232,095
営業外費用		
支払利息	643	330
投資事業組合運用損	—	54,985
為替差損	—	65,805
持分法による投資損失	6,209	1,570
その他	596	19,286
営業外費用合計	7,449	141,978
経常利益	2,279,961	1,594,901
特別利益		
固定資産売却益	16,392	15,036
投資有価証券売却益	—	70,789
特別利益合計	16,392	85,825
特別損失		
固定資産処分損	822	858
特別損失合計	822	858
税金等調整前四半期純利益	2,295,531	1,679,868
法人税、住民税及び事業税	399,971	498,436
法人税等調整額	300,825	40,540
法人税等合計	700,797	538,977
四半期純利益	1,594,734	1,140,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,594,734	1,140,890

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,594,734	1,140,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108,921	△68,959
繰延ヘッジ損益	38,980	△115,132
為替換算調整勘定	△25,004	△16,582
退職給付に係る調整額	△16,046	23,357
持分法適用会社に対する持分相当額	237	22,932
その他の包括利益合計	△110,755	△154,385
四半期包括利益	1,483,979	986,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,483,979	986,505
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,295,531	1,679,868
減価償却費	434,373	383,044
のれん償却額	11,422	13,251
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△539	△2,530
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△45,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,750	△36,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	892	△3,326
受取利息及び受取配当金	△72,523	△68,709
支払利息	643	330
和解金	—	△118,541
持分法による投資損益(△は益)	6,209	1,570
投資事業組合運用損益(△は益)	—	54,985
有価証券売却損益(△は益)	—	△59
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△70,789
固定資産除売却損益(△は益)	△15,570	△14,177
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△2,496,621	△2,582,899
棚卸資産の増減額(△は増加)	472,539	△257,646
仕入債務の増減額(△は減少)	254,401	305,799
契約負債の増減額(△は減少)	—	△801,131
その他	△57,587	147,130
小計	782,423	△1,415,330
利息及び配当金の受取額	84,110	89,359
利息の支払額	△643	△330
法人税等の支払額	△452,995	△142,565
法人税等の還付額	—	831
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,894	△1,468,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△499,628	—
有価証券の売却による収入	7,305,162	1,010,150
有形固定資産の取得による支出	△6,731,461	△637,445
有形固定資産の売却による収入	2,434	45,831
無形固定資産の取得による支出	△213,520	△183,016
投資有価証券の取得による支出	△1,132,936	△264,281
投資有価証券の売却による収入	—	1,734,564
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△288,096
その他	9,059	93,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,260,890	1,511,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△79	△1,102,991
配当金の支払額	△638,527	△702,341
ストックオプションの行使による収入	2	47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△638,604	△1,805,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	76,749	△50,934
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,409,850	△1,812,896
現金及び現金同等物の期首残高	4,996,538	3,787,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,586,687	1,974,675

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月10日開催の取締役会の決議に基づき、2022年10月3日から2023年3月24日にかけて、市場買付により当社普通株式830,500株を総額1,102,692千円にて取得しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	3,078,670	2,392,955	3,524,201	2,022,318
一定期間にわたり移転される財またはサービス	690,283	147,964	14,993	108,631
顧客との契約から生じる収益	3,768,953	2,540,920	3,539,194	2,130,950
売上高	3,768,953	2,540,920	3,539,194	2,130,950
セグメント利益	556,351	554,980	934,094	211,782

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋/特機	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス	
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	888,248	358,354	233,219	12,497,967
一定期間にわたり移転される財またはサービス	78,464	408,627	63,714	1,512,679
顧客との契約から生じる収益	966,712	766,981	296,933	14,010,646
売上高	966,712	766,981	296,933	14,010,646
セグメント利益	217,549	163,361	32,406	2,670,526

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,670,526
全社費用(注)	△615,188
四半期連結損益計算書の営業利益	2,055,338

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	3,047,701	2,395,289	4,135,294	2,834,046
一定期間にわたり移転される財またはサービス	839,825	216,020	4,651	98,555
顧客との契約から生じる収益	3,887,526	2,611,310	4,139,946	2,932,602
売上高	3,887,526	2,611,310	4,139,946	2,932,602
セグメント利益	326,546	351,828	1,135,274	243,427

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋/特機	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス	
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	634,562	365,653	274,155	13,686,702
一定期間にわたり移転される財またはサービス	100,973	468,297	71,637	1,799,961
顧客との契約から生じる収益	735,536	833,951	345,792	15,486,664
売上高	735,536	833,951	345,792	15,486,664
セグメント利益	73,218	155,758	58,867	2,344,921

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,344,921
全社費用(注)	△840,137
四半期連結損益計算書の営業利益	1,504,784

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは経営管理区分及び社内組織の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より「ライフサイエンス/マテリアルズ」を「ライフサイエンス」に名称変更し、マテリアルサイエンス(材料評価)分野の製品ラインを「ライフサイエンス」から、事業領域が近く、シナジーが見込まれる「物性/エネルギー」に移管しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。